

1. 件 名：国立大学法人東京大学による核燃料輸送物設計承認申請に係る面談（12）
2. 日 時：令和2年1月14日（火）16時00分～17時00分
3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室
4. 出席者：
原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門
石井企画調査官、高野上席安全審査官、山後安全審査専門職、
甫出安全審査専門職
国立大学法人東京大学
大学院工学系研究科 原子力専攻 客員研究員
トランスニュークリア株式会社
技術部長 他1名
5. 自動文字起こし結果：
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。
6. その他：
なし

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	明日
0:00:07	確認事項について、
0:00:10	ねえ。
0:00:11	それでよろしい。
0:00:36	じゃあ、
0:01:47	はい、ありがとうございます。しかしながらお時間取っていただいて、じゃあ早速、今のお話なんですけど、係数 12 として収納物を用意したんですけど、ケース 1 のほうですね、書いてございましてですね。
0:02:02	低密度の熱伝導率が低い印刷
0:02:05	装荷したケースというのをケース 1、それから、決議の方もですね、従来層を金属ボタンという書き方しかしてないんですけども、高密度で熱伝導熱伝導率が高いボタン状の発熱にコストがこういうふうな
0:02:22	言い方をしまして、
0:02:25	ケース 1 が低密度、
0:02:27	の禁止札ですから、ケース 2 が高密度のボタンが多発ですね、こういう言い方をした後、後ろのほうはですね、そういう故障にあわせ、
0:07:02	中でも、
0:07:27	うん。
0:12:25	説明について、
0:12:27	いう
0:19:26	規制庁の後藤でございます。あと、いろいろ
0:19:31	これまでの
0:19:34	御説明いただいた内容で、非常に
0:19:39	使っていないものを補正ということで、高い圧力を設定されていたというところがあるんですけども。
0:19:48	別会社が出た温度に対して、募集があつたらおかしいですけども、その辺の考え方を踏まえて、現実的な圧力に変えられたというふうにしてよろしいでしょうか。
0:20:04	トランスジェニック例のモリタです。そのように変更する予定です。
0:20:17	なんですけれども、
0:20:20	どうぞ。
0:20:21	以前からこちら側で
0:20:26	思ってた
0:20:28	ソースタームの考え方と、一般特別のそれぞれ圧力の考え方について

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:37	現在等考えなのかということを御説明いただければと思います。
0:20:42	トランスにクレーンのモリタでまず圧力についてなんですけれども、先ほどホデさんからお話しした通り、再開し評価した圧力がさせるかを用いて評価しています。ソースタームに関してなんですけれども、配電PCVSCという三つの形で評価し、
0:21:01	なんです、一般に関しても、一時PCBのみっていう形の評価ですべて記述を満たすという評価に変える予定です。
0:21:11	あと、各燃料物質の量についてもですね一章のものをすべて包含するような形で設定をして設定を変更する予定です。
0:21:26	確認ですけども、事象のところ、一番最初のところなんですけども、
0:21:34	もともと、かなり高い量の
0:21:38	これが設定されてましたが、
0:21:45	はい。
0:21:46	238とか、その辺を検討されるということでよろしいでしょうか。
0:21:53	エリアモニタです。その通りです。
0:22:27	資料のほうでございます。ということで密封ではですね、皆をされたというところでソースタームについても、現地ですとかで圧力についても全部でしょということで1発
0:22:43	っていうか、ピーキングSCVそれぞれ
0:22:47	あるんですけども、別紙部位は保守側に考えられると。
0:22:52	ことで対応されたということでよろしいのでしょうか。
0:22:59	クレハモリタです。その通り。
0:23:41	規制庁のほうでございます。
0:23:45	確か、後ろの事象のところと、
0:23:49	こちらの方とですね、
0:23:52	やり方がちょっと違ってたというふうなところがありましたけれども、そこについては、
0:24:03	新工法でやるということでよろしいでしょうか。
0:24:09	プラス幾らモリタですねと一緒と同様ですね、圧力上昇法による評価という形で本文のほうに記載を変更します。
0:24:29	このような規制庁のほうでございます。
0:24:35	この容器自身はPCVの境界という
0:24:43	通りです。
0:24:45	はい。
0:24:47	あればですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:51	特別はいいんじゃない。
0:24:57	当然熱く状況も緩くなると思う。
0:25:00	SCVだけでございますね。
0:25:04	をしますよと。
0:25:05	PCVで持ってるわけですね。
0:25:08	実施日を治水部オービック協会
0:25:13	であれば実施部位についても別途何らかの
0:25:17	全部が全部そのまま同じというふうな
0:25:20	同じ開析度、
0:25:22	場合出せっていうことは、
0:25:24	思いますけども、
0:25:27	づく条件等と比べて、そのところですね、HTV単発でも、
0:25:35	いうふうにその制度があるという説明は何だか記載いただきたいと思います。
0:25:42	これもいただきました拝承いたします。
0:26:38	次長の方でございます。次遮へいなんですけども。
0:26:42	ごくわずかとはいえ、言及するということで、そういうところと、
0:26:48	通常輸送時における、
0:26:51	線量当量率がどの程度かということと、
0:26:55	変形の考慮ということについて、どのように、
0:27:00	考えんなっているのかということについて、
0:27:05	はい。
0:27:08	モリタです。まず一章の制限重量を変更したところから踏まえてですね、大変
0:27:17	そうすると設定ですね、次の見直しをしました。それに基づいて、大変法体計算いたしまして、
0:27:25	今の状況で等で、
0:27:30	委員会で
0:27:32	店舗0.一六からね。
0:27:35	になります。本文のほうにですね、先ほどおっしゃっていたの変形の考慮についてもですね、変形の影響評価ということで、
0:27:44	約5%ぐらいの増加が見込まれるけれども、十分に
0:27:49	担保済というふうに変更する予定です。
0:28:04	市長のホデです。今の5%っていうのがとっても大事な話で、
0:28:09	考えておりますので、そこをどのような導出をされたかというところはもう
0:28:16	どうぞ。
0:28:18	申請者のほうで

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:21	やり方と通知される場所だと思うんですけども、しっかり説明いただければと。
0:28:29	折り返しかしこまりました。
0:31:18	ですかと。
0:31:20	どうぞ。
0:31:22	あともう一つは、公立系のその 20 ページ。
0:31:29	あわせて、
0:31:30	はい。
0:31:31	当時の周りに水をまけという話と、
0:31:34	この記載の輸送容器の周りに水をまいたというところの、その辺の総会について確認したいと思います。
0:31:43	これについてどうぞ。
0:31:46	説明をされようとしているのかということについてご説明いただければと。
0:32:01	それからスズキのモリタまず、一般の試験条件における
0:43:22	はい。
0:43:25	はい。
0:44:09	大変にあたり、
0:44:11	一緒だということ。
0:44:13	御説明は、
0:44:19	はい。
0:44:21	反応度ですけども、一応、
0:44:52	10
0:45:22	アベさん。
0:47:32	やはり 2000 だけで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。